



広報

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま

8

2015(平成27年)
No. 517

空高く

— おおくまっ子みんな集まれ —

今月の主な内容

- ふるさと瓦版 ④～⑤
- まちの話題 ⑥～⑧
- KIZUNA おおくまふれあい通信 ⑫～⑮
- お知らせ ⑯～⑳

おおくまっ子みんな集まれ

7月19・20日

町の子どもたちが年に1回集い、古里の絆を深める「おおくまっ子みんな集まれ」は7月19、20の両日、猪苗代町のホテルリステル猪苗代で開かれました。

19日の体験活動では、リステルパーク内の施設でパークゴルフや釣り、ツリーアドベンチャーなどで自由に遊びました。夜の上映会では震災前後の町の映像を見ながら、古里への思いを語り合い、グループごとに発表しました。花火も楽しみました。

ホテルに宿泊し、20日は小中学生が考えた町に関するクイズに挑戦する「おおくまウルトラクイズ」を繰り広げました。凧揚げも行いました。

4回目の開催となる今回は、県内外に避難する小中学生70人余りが参加。古里の友人との再会を喜び、変わらぬ友情を確かめていました。



参加者の声

佐藤 風音さん

(いわき市・中学1年生)



今回は、町で別々の小学校だった子と同じ班になり、初めてじっくり話をしました。一緒にウサギと散歩をしたのが楽しかったです。しばらく会えなかった友だちと会えるのはありがたく、毎回楽しみにしています。

高橋 楓君

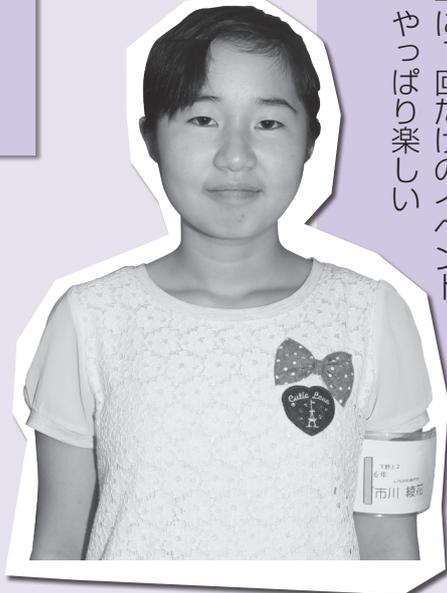
(いわき市・中学3年生)



会津への避難を経て、今はいわき市で暮らしています。友だちと会うたびに、震災がなかったら、みんな中学校が一緒だったのかなと思ひ、寂しい気持ちになります。それだけに、このイベントは大切にしてみました。今年は進路のことも話題になりました。町には、こうした機会をもっと増やしてほしいです。

吉田 有希君

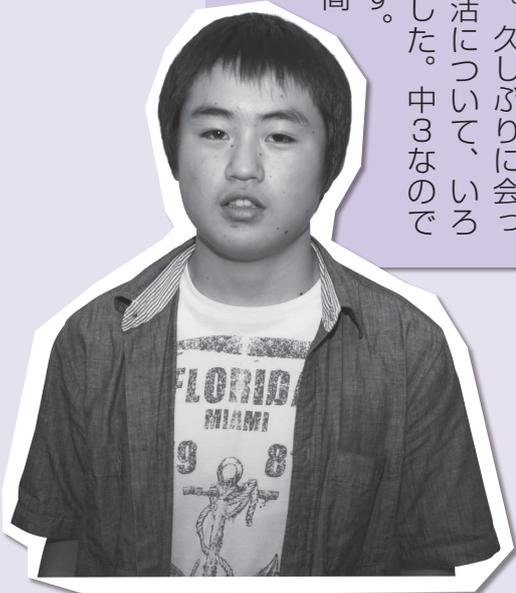
(会津若松市・中学3年生)



初日の体験活動では釣りやパークゴルフを楽しみました。久しぶりに会った友だちとは学校生活について、いろいろと紹介し合いました。中3なので今回が最後の参加です。友だちと限られた時間をたくさん楽しみたいです。

市川 綾花さん

(会津若松市・小学校6年生)



今回、プールと花火ができるのを楽しみにしていました。早速初日に屋内プールで遊びました。いわきに住んでいる友だちと久しぶりに会えてうれしかったです。1年に1回だけのイベントですが、やっぱり楽しいです。

瓦版

かわらばん

町内で着々と進む復興などの様子を、国・県・町が一体となりお知らせします。

今回は復興に向けた国、県、町の取り組み、町内パトロール、除染等について紹介します。



○竹下巨復興大臣が6月29日、大熊町を訪れ、町が復興拠点と位置付ける大川原地区や常磐自動車道の追加インターチェンジ建設予定地などを視察しました。

竹下大臣は「厳しい条件にあるが、(町の復興拠点整備を)しっかりとお手伝いし、帰れるぞということは何としても示したい。でなければ、原発で被災したエリアの復興は具体的に進んでいかないと強い思いだ」と述べました。

◆国・県・町が一体となり ふるさと大熊の復興を！◆

○7月7日、渡辺町長、担当課長が県相双地方振興局・相双建設事務所・相双農林事務所を訪ね、今後の復興計画等の開発について説明しました。県の担当者から、大熊の復興について、しっかりと支援したいと力強い言葉がありました。



○ふるさと大熊の復興に向け国、県、町が一体となって取り組んでいきます。

◆片付けごみの回収について◆

○大川原地区、中屋敷地区においてごみステーションにおける「燃えるごみ」「燃えないごみ」「ビン類」「カン類」の回収を実施しています。

関係される皆様には別途、「片付けごみのステーション回収について(お知らせ)」を送付致しています。

【お問い合わせ先】

福島環境再生事務所 会津支所

☎0242(23)7970

大熊町役場会津若松出張所 環境対策課

◆除染について◆

○7月現在、事前モニタリング、除草作業を実施しています。除染に同意いただけました家屋、田畑等から順次除染を開始する予定です。

○除染に関わる作業車両及び作業員のヘルメットには全て写真(①)のようなステッカーが貼られています。また、環境省が除染に関する調査を実施する作業員は除染活動推進員の腕章(②)を付けております。



◆家屋調査について◆

○除染をする区域の家屋の解体を希望する場合は、必ず損壊状況調査(家屋調査)が必要です。

【お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 税務課

【お問い合わせ先】

福島環境再生事務所 会津支所

☎0242(23)7970

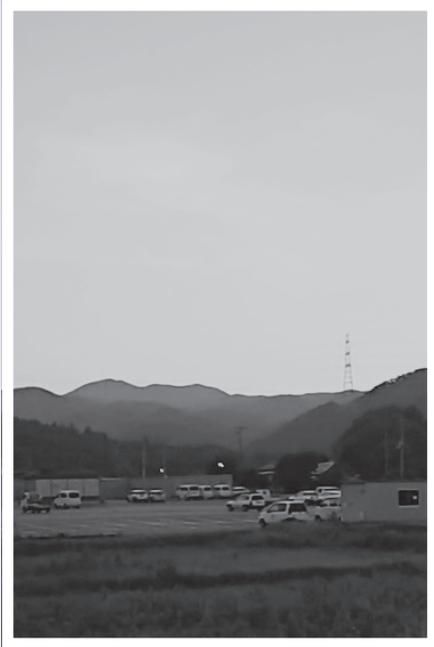
大熊町役場いわき出張所 復興事業課

ふるさと

おおくま 定点観測

～南平から～

町内の様子を
特定の撮影場所から
毎月写真で紹介しま
す。今回は南平から
の風景です。



7月11日の夕方、建設会
社の事務所や町民休憩所な
どがある大川原字南平に立
ち寄りました。震災後、遅い
時間に町内を訪れるのは初
めです。昼間は多くの車
が停まっている駐車場です
が、夜間はまばら。それ
も、多くの作業員の方が集っ
た昼間の熱気が残っている
ような気がしました。
ほどなくして日隠山の向
こうにゆっくりと日が落ち
ていきました。

◆町内パトロール通信◆小説家・志賀直哉ゆかりの木

○復興事業課では、毎月町道・水路
などを中心に町内パトロールを
実施しています。今回は、熊川地区
にある、小説家志賀直哉ゆかりの
グミの木を紹介します。



白樺派を代表する小説家・志賀直哉。彼の祖父が相馬藩
士・志賀直道だったことから、双葉、大熊両町には志賀直哉
ゆかりの資料や彼の一族の足跡が残っています。
直哉の大叔父・半谷重固の家は熊川地区にあり、直哉は幼
少の頃、半谷家にしばらく滞在しました。家の向かいに一本
のグミの木があり、直哉は登って遊んだそうです。
木は震災の津波で流されました。しかし、残った根から芽
を出し、今では2mほどの高さに成長しました。6月25日の
パトロールでは、可愛らしい実をたくさん付け、赤く色づい
た実を見ることができました。

グミの木も頑張っています！

【お問い合わせ先】

大熊町役場いわき出張所復興事業課

◆中間貯蔵施設について◆

○7月1日現在、広野町、
川内村から保管場への
試験輸送（パイロット
輸送）を行っています。

【お問い合わせ先】

福島環境再生事務所

中間貯蔵施設等整備事務所

調査設計課

☎024-

593-1-2693

大熊町役場会津若松出張所

環境対策課

「JINRIKI」いただきました

大和ハウス工業福島支社が町に、けん引式車いす補助装置「JINRIKI（じんりき）」を寄贈してくださいました。JINRIKIは車いすにけん引バーを装着し、人力車のように車いすの前輪を浮かせて引く器具。坂道や段差などでもスムーズに移動でき、災害時に障がい者や高齢者の方の移動にも役立ちます。7月2日、渡辺靖彦支社長、藤井秀雄購買課長が町役場会津若松出張所に届けてくださいました。会津若松出張所で活用させていただきます。



渡辺社長（左）と藤井課長（右）

ヨーグルトをいただきました

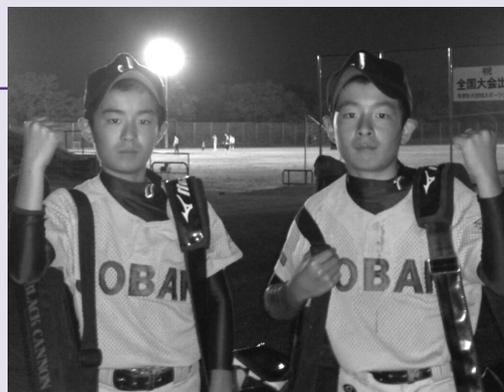
7月3日、東北協同乳業から仮設住宅の町民の皆さんにと、ヨーグルトをいただきました。いただいたのは同社の「11/19-B1乳酸菌ヨーグルト」。乳酸菌を開発した東大教授の方が「仮設住宅で不自由な暮らしから体調を崩す方が多い。自然免疫を活性化する働きのある乳酸菌を、健康管理に役立ててほしい」と、製品化した同社と共に、各地の仮設住宅への贈呈を続けているそうです。今長谷浩社長が町役場会津若松出張所に届けてくださいました。



ヨーグルトを寄贈した今長谷社長（左）

村上兄弟、軟式野球の全国大会に出場

いわき市の常磐軟式野球スポーツ少年団に所属する大熊町出身の村上康生君、康大君の双子の兄弟が、8月7日から東京都の神宮球場などで開かれる高円宮賜杯・第35回全日本学童軟式野球大会に出場します。県予選では康生君がレフト、康大君はライトで出場。2人の活躍もあり、チームは優勝を果たしました。2人は「力を出し切り、目標の全国制覇に向けて一戦必勝で頑張る」と意気込んでいます。皆さん、応援よろしくお願いします。



康生君（右）と康大君



委嘱状を受ける宮澤さん（右）

町復興支援員に宮澤さん

大熊町復興支援員に宮澤祐歩さん（25）が加わり、7月1日、町役場会津若松出張所で委嘱状が交付されました。宮澤さんは会津若松市出身。震災後、福島県の観光PR隊の活動を3年間勤めた経験があり、会津若松出張所で動画取材を中心に取り組みます。「経験を活かして、大熊町の方々に笑顔になっていただけるように頑張ります」と述べました。



学校生活を紹介し合った交流会

大熊中生、東京の中学生と交流

東京都世田谷区の東京都大等々力中の2年生160人が6月18日、会津若松市の大熊中を訪れ、交流会を開きました。学年行事「自己発見と共生の旅」で会津を巡る一環で、交流会が企画されました。生徒は互いに学校紹介した後、クイズ大会やフリートークで打ち解けました。大熊中生が等々力中生にエールを送り、校内も案内しました。短い時間でしたが、勉強への取り組みや日常生活の違いなどが分かり、お互いに刺激を受けた様子でした。

模擬店にカラオケ…長原仮設で夏祭り

7月18日、会津若松市の一箕町長原地区仮設住宅で夏祭りが行われました。4回目の今年は例年より規模を縮小しましたが、駐車場には例年通り模擬店のテントが並び、住民手作りの焼きそばや焼き鳥のにおいが漂いました。集会所では町民が思い思いに談笑したり、手拍子に合わせてカラオケを歌ったりしました。席上、昨年まで夏祭りの運営を支えてくださった東京都江戸川区の甲和会に対し、石田仁副町長から感謝状と記念品を贈りました。



小雨が降る中で盛り上がった夏祭り



ゲームなどを楽しんだサロン

トランプに歓声、つながっぺ磐崎サロン

つながっぺおおくまいわき磐崎サロンが7月15日、いわき市の磐崎公民館で開かれました。町民11人が参加し、8月6日から8月8日にいわき市で行われる「平七夕まつり」に向けての七夕飾りづくりとタブレット端末の説明会、大きいトランプを使ったゲームを行いました。トランプ遊びが久しぶりという参加者もあり、1枚カードを引くたびに歓声があがり、大人数でのトランプゲームはとても盛り上がりました。

あづま袋に挑戦、笑友くらぶ

7月10日、大熊町役場いわき出張所で第4回笑友くらぶが開かれ、あづま袋づくりに挑戦しました。笑友くらぶは町地域包括センターが主催する介護予防教室です。お弁当の包みなどに便利なあづま袋は、長方形の布を折り直線を2本縫うだけで完成しました。参加者は「家でも作りたい!」などと感想を述べていました。このほか、健康に関する講話「口腔ケアをしっかり行いましょう!」や「365歩のマーチ」に合わせて体操を行いました。



あづま袋に挑戦した参加者

5年ぶりに騎馬会出陣式

相馬野馬追に出場する標葉郷大熊町騎馬会の出陣式は7月16日、会津若松市の会津若松ワシントンホテルで行われました。東日本大震災以降では初めての開催で、5年ぶりに古里の騎馬武者を激励しました。今回出場したのは武内敏英さん、渡部達也さん、坂井常雄さん、鈴木清彦さんの4人。式には武内さんと坂井さんが出席し、決意を述べました。町相馬野馬追保存会による相馬流れ山踊りも披露され、出陣ムードを盛り上げました。



決意を述べる武内さん（右）と坂井さん



時間の許す限り語り合った交流会

北陸地方で初の「おおくま交流会」

7月11日、石川県金沢市で北陸地方初の町民交流イベント「おおくま交流会 in 金沢」を開催しました。金沢21世紀美術館の素敵なお茶室を会場に、石川、富山両県内から6世帯10人が参加しました。初対面の方同士も普段あまり話さない心情や思い出話をし合ったり、近況を語り合ったりして互いを思いやっています。終了後も話は絶えず、部屋が閉まる時間までほとんどの方が残って連絡先を交換したり、次に会う約束をしたりしていました。

子どもたち元気にスポーツ遊び

第2回大熊KID、SPORTS遊び大会が7月18日、会津若松市の会津短期大学部で開かれ、町の子どもたちがさわやかな汗を流しました。児童約40人が参加。午前中は学校の敷地を舞台に「逃走なう」を行い、子どもたちが歓声を上げながらハンター役の学生から逃げ回りました。午後にはドッジボール、サッカー、鬼ごっこなどを自由に楽しみました。大会の運営は、町地域学習応援協議会や学生ボランティア団体のメンバーが支えてくれました。



「逃走なう」を楽しむ子どもたち



捜索に当たる参加者

海岸付近で一斉捜索

東日本大震災から4年4カ月となった7月11日、町内の熊川海水浴場近くで行方不明者の一斉捜索が行われました。消防団員をはじめ警察、消防関係者ら約30人が参加し、がれきの山を中心に作業しました。当日は朝から蒸し暑く、防護服を着て捜索するのは厳しい状況でしたが、水分補給をこまめに行いながら作業しました。今回は約3時間半にわたって捜索しましたが、行方不明者に関係する手掛かりなどは発見されませんでした。

新農業委員が決まりました

会長根本さん、職務代理者渡部さん再任

任期満了に伴う町農業委員の一般選挙は6月21日に告示され、10人が無投票当選しました。また選任による委員（農業協同組合・農業共済組合および土地改良区が推薦する理事各1人、議会推薦の学識経験者3人）も選任されました。

新農業委員による総会が7月9日、町役場会津若松出張所で開かれ、会長の根本友子さん、会長職務代理者の渡部幸悦さんがそれぞれ再任されました。

委員の任期は7月8日から平成30年7月7日までの3年間です。

※顔写真の（）内は担当行政区。



志賀 正典
(下野上3)



宗像 宗之
(大川原1)



渡部 幸悦
(野上2)



根本 友子
(小入野、野馬形)



堀川 健
(下野上2、大野1、大野2)



木幡 仁
(下野上1)



佐藤 照彦
(大川原2)



尾内ハツ子
(夫沢3)



畑川 恵成
(町)



佐藤 久夫
(夫沢2)



志賀 邦彦
(野上1、中屋敷)



川木 一重
(大和久)



永井 文成
(夫沢1)



佐久間 住夫
(熊1)



渡辺 完治
(熊2、熊3)



田中 利忠
(熊川)

土 壤

試料その1

(N.D.は検出下限値未満、単位はBq/kg乾土)

試料名	放射性セシウム (Cs-134)		放射性セシウム (Cs-137)		放射性ストロンチウム (Sr-89)		放射性ストロンチウム (Sr-90)		放射性プルトニウム (Pu-238)		放射性プルトニウム (Pu-239+240)		
	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	
南東産業道 サンライト	空地①	81000	78000	240000	230000	N.D.	N.D.	28	17	N.D.	N.D.	1.0	0.8
	空地②	81000	77000	240000	230000	N.D.	N.D.	29	19	N.D.	N.D.	1.0	0.7
	空地③	81000	78000	240000	230000	N.D.	N.D.	28	15	N.D.	N.D.	1.0	0.9

試料その2

(N.D.は検出下限値未満、単位はBq/kg乾土)

試料名	放射性セシウム (Cs-134)		放射性セシウム (Cs-137)		放射性ストロンチウム (Sr-89)		放射性ストロンチウム (Sr-90)		放射性プルトニウム (Pu-238)		放射性プルトニウム (Pu-239+240)	
	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B
五郎四郎付近田①	140000	160000	410000	470000	N.D.	N.D.	44	25	N.D.	N.D.	0.08	0.07
五郎四郎付近田②	140000	160000	410000	480000	N.D.	N.D.	45	24	N.D.	N.D.	0.08	0.06
五郎四郎付近田③	140000	160000	410000	450000	N.D.	N.D.	45	27	N.D.	N.D.	0.08	0.05

データの数値は平均値ではなく、それぞれの値です。放射線の測定値から放射性物質の量を正確に知るのには難しいため、AとBの測定結果が完全に一致する事はありませんでした。

以上のことから、「A、Bの測定結果を比較すると、データは同様の傾向を示しており、正しい値」と判断しました。別な言い方をすれば、「測定者Aと測定者Bの測定結果は、それほどかけ離れていない値だったので、正しい値である」と結論付けました。よく言われる「誤差」や測定器の違いなど、測定結果は様々なものの影響を受けます。これらを考慮すると、データ全体を比較した結果は「正しい」という判断です。もっとも、これは測定の目的「大熊町内の現状を知る」に照らした場合の結論です。全ての場合に当てはまるものではありませんので、注意が必要です。

町は今後も継続して環境中の放射性物質を調べ、皆さんにお伝えしていきます。広報などでこれらのデータを目にした時は、この話を思い出してください。「難しいけど、正しい」「正しいけど、難しいらしい」。

ここがポイント

- ・放射性物質の量を正確に測定することは難しい。
- ・放射線は、いつどの方向に放出されるかわからない。これが、測定を難しくしている原因の一つである。
- ・同じ試料を3回測定したとしても、必ず同一の測定値になるわけではない。
- ・水と土壌について2社に分析を依頼したが、それほど測定値に差はないので、現在行っている測定は適切である。

教えておおちゃん

放射性物質

Part4 放射線量を測るのは難しいの？



放射性物質の「量」を正確に知るのはとても難しいことです。今回は、測定がどれだけ難しいのかと、大熊町で実施した測定結果について説明します。

放射性物質は「不安定」な状態から「安定」した状態になろうと変化するとき「放射線」を出します（この変化を「崩壊」と言います）。変化のタイミングは不規則で、正確に予測することはできません。せいぜい言えるのは「これぐらいの期間に半分変化する」ということぐらいです（この時間を「半減期」といい、セシウム134では2年です）。

放射線が飛び出す方向も一定ではありません。前後、上下、左右あらゆる方向に飛び出し、全く予想が付かないと言えます。

このようにタイミングも方向も定まらない放射線を測り、量を正確に求めるのは非常に難しく、「放射線量から放射性物質の量を正確に知る」のは困難です。

とはいえ、原発事故による汚染状況を正確に知る必要があり、町では複数の人が分析した結果を比較して、分析結果が正しいかをクロスチェックと呼ばれる方法で確認しました。

今回はA、B2つの測定業者のデータを比較しました。水のサンプル2つ、土壌のサンプル2つ、合計4つのサンプルの測定を依頼し、それぞれ同じサンプルを3回測定しています。

河川水

試料その1

(単位はBq/リットル)

試料名	放射性セシウム (Cs-134)		放射性セシウム (Cs-137)		全β		トリチウム (H-3)	
	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B
夫沢川 (喰津沢橋) ①	1.2	1.4	3.5	5.5	1.8	2.7	4.5	3.6
夫沢川 (喰津沢橋) ②	1.3	1.9	3.6	4.9	1.9	2.6	4.2	3.5
夫沢川 (喰津沢橋) ③	1.1	2.4	3.7	5.3	1.9	2.9	4.5	3.6

試料その2

(単位はBq/リットル)

試料名	放射性セシウム (Cs-134)		放射性セシウム (Cs-137)		全β		トリチウム (H-3)	
	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B	測定者 A	測定者 B
夫沢川 (発電所南付近) ①	1.3	1.6	4.1	4.5	1.9	2.5	23	24
夫沢川 (発電所南付近) ②	1.4	1.4	4.3	4.4	1.9	2.5	23	23
夫沢川 (発電所南付近) ③	1.4	1.7	4.1	3.7	1.9	2.4	23	20

KIZUNA おおくまふれあい通信

第 28 号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



じゃんがら念仏大鼓踊り



おおくま夏祭り



熊川稚児鹿舞

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 会津若松市

すえなが ゆきひろ
末永 幸弘さん

自宅は大野2区。被災当時は双葉町立双葉南小学校に校長として勤務していた。

震災後、熊町小学校長を経て、今年3月に定年退職。現在、非常勤で町立幼稚園の園長を務めている。



震災当時、私の勤務先は「第一原発から最も近い学校」の双葉南小学校でした。直線距離で3キロ強、校舎は耐震補強工事前であったものの、地震の揺れに耐え、校内にいた児童、教職員は全員無事でした。震災直後には町民の皆さんも避難してきていました。

午後9時過ぎまでに、児童全員を保護者に引き渡し、ひと安心と思つて間もなく、第一原発から3キロ圏内に避難指示が出されたため、避難者の皆さんと共に双葉北小学校に移動し、炊き出しなどにあたりました。翌朝6時ごろに教職員を帰宅させましたが、その直後、避難指示が出されました。私は、帰宅して妻や母と共にバスで町を離れ、田村市内の避難所を経て妻の実家がある会津若松市に向かいました。

避難後、生活をどうするのかというとても大きな問題でしたが、児童や教職員の安否や居所の把握、今後の就学支援、学校の運営など、校長としての職責を果たさなければなりませんでした。幸いにも、被災翌朝、児童とその保護者の連絡先が記載された名簿を各教職員に渡していたため、教職員自身も避難しながら携帯電話などを使って、保護者らと連絡をとることができ、避難区域内にあった学校の中では、比較的早い段階で児童の避難状況を把握することができました。

一方、埼玉県加須市に避難した双葉町は避難先に学校を開校しませんでした。そのため、教職員は双葉南小学校に所属したまま、児童が比較的多く通う小学校や市町村教育委員会に配属されるという特例的な勤務状態になりました。私は平成23年5月から会津若松市教育委員会に配属され、同25年4月からは熊町小学校に校長として勤務し、この3月に定年退職してからは、非常勤ですが、大熊町立幼稚園の園長として勤務しています。

この震災は、大地震、大津波、原発事故、長期避難などその全てが未曾有の事態です。安全を確保しながら、子どもたちをどう守り、どう育てていくのか、私たち教職員を含めた大人たちだけでなく、社会全体に投げかけられた大きな課題だと思つています。そうした中で考えられ、実行し得る可能な限りの行動をとってきたつもりですが、その一つひとつが正しかったのかという自問自答は退職した今でも続いています。

被災から4年以上が経過し、子どもたちは柔軟に避難先に馴染み、元気に過ごしている姿を数多く見かけるようになりました。将来に向けて歩みを進める姿として喜ばしい反面、先人から受け継いできた故郷の自然、土地、伝統などをどう維持していくのかという課題もあろうかと考えています。



福島県 福島市

たかはし けいこ
高橋 恵子 さん

自宅は熊1区。被災当時は双葉高校3年生で、すでに卒業式を済ませ、合格していた福島大学への入学を待つばかりだった。

現在、福島大学大学院地域政策科学研究科修士課程に在籍している。



私は推薦入試で福島大学に入学しました。試験と合格発表は震災前で、入試では本試験とは別に「地域問題」についての小論文を課せられたため、私は大熊町の問題として「プルサーマル計画」を題材としました。

小論文を書くために、資料や施設を調べたり、東京電力や行政に聞き取りを行ったりしましたが、聞き取りの相手方が原子力発電の危険性に関することを自ら示すことはありませんでした。調査の結果、「避難計画は住民の安全を担保できるものにはなっていない」という結論に達し、それを小論文で主張しました。

それから数か月後、原発事故に見舞われました。震災の翌朝、避難指示が出されたため、中通り方面に避難しましたが、プルサーマル発電が行われている3号機が爆発し、プルトリウムは拡散という危険が迫っていると認識したため県内を離れ、しばらくの間、山梨県内の親類のもとに身を寄せました。それから約2か月後、私と妹はそれぞれ通学先のある福島市、いわき市に移り、家族や被災から約1年後にいわき市に移りました。山梨からいわき市に移動しています。

福島に戻るにあたって放射能への不安がありました。福島大学で学ぶことは大きな意義があると思ったので戻ることを決意しました。またそれは、住民の一人として「原発事故の当事者」であるにもかかわらず、山梨で事故を無視したような生活をするの

が嫌だったという気持ちがあったからです。

大学入学後、原発事故とそれに続く避難生活について、様々な視点から考察・検証を行っています。また、被災地の学生を支援するプログラム等にも参加し、平成24年3月にはアメリカのハーバード大学やイェール大学で「原発事故による被災者の一人」としてスピーチを行いました。現地の皆さんからは様々な反応をいただきましたが、その多くは、被災地の現状が正しく伝わっていないという現実を思い知らされるものでした。

この春、大学を卒業しましたが、卒業研究は「小塚製炭試験地の全容と詳細」岸本定吉の視点を中心に」と称して、双葉郡内の豊かな自然を生かした森林資源の活用について研究し、まとめました。祖父が炭焼きを行っていたり、父が震災まで森林組合に勤務していたこともあり、自然を生かした資源に親近感を感じていたこともあり、そして改めて調査してみると、高度成長期のエネルギー転換や外国産木材の輸入自由化などが行われるまで、林業は大熊町を含めた双葉郡内で長年大事にされてきた産業の一つでした。

大学院では原発事故によりアイデンティティまで消されようとしている「故郷」について、より広くより深い視点で学んでいこうと思います。さらに、国際的視点を加えて地球規模、全人類共通の課題として考えていければと思っています。



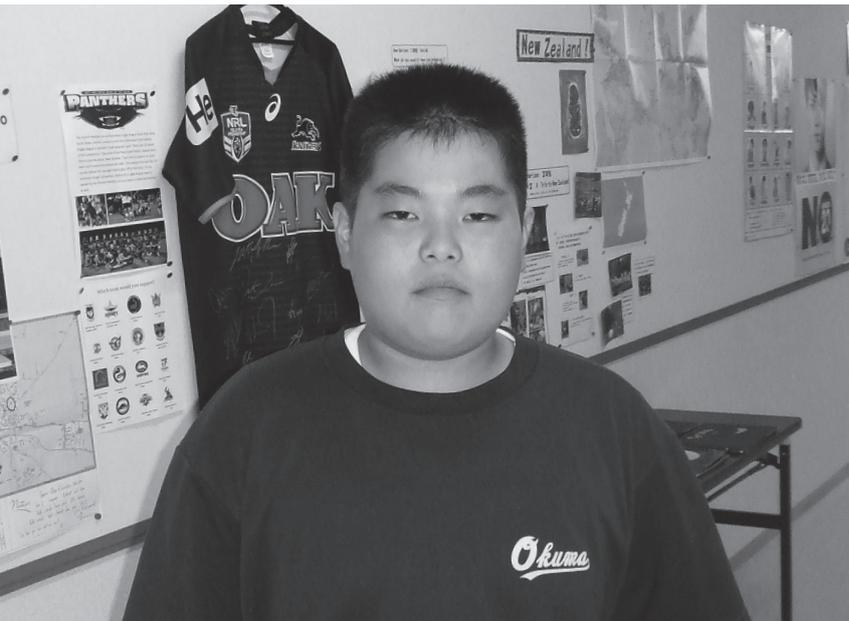
福島県 会津若松市

あべ ひろや
阿部 浩也 さん

大熊中学校 1年生

自宅は大和久区。震災当時は大野小学校2年生。

小学校ではサッカースポーツ少年団で活動していたが、中学校入学後はソフトテニス部に所属している。



授業が終わり「もうすぐ春休み」、そんなことを思いながら小学校を出て、友達とともに3人で肩を組みながら歩いてたとき、バランスを崩して転びそうになりました。3人のうち誰かの足がもつれたのかと思って立ち止まりましたが、すぐに立っていられないほどの揺れに襲われ、そのとき初めて地震だと分かりました。震災に遭ったときは、まだ小学2年生で、地震や津波そして原発事故などのことをよく理解できず、怖がる気持ちだけが大きくなり、避難後、しばらくの間は、これからどうなってしまうのかという不安で気持ちが落ち込んでしまいました。

大熊町を離れてからしばらくして、会津若松市内に移りました。小学校が再開されることになり、平成23年4月、3年生の新学期が始まりましたが、同級生のうち同じ教室で再び顔を合わせる事ができたのは、震災前の半分以下でした。当時はまだ携帯電話やインターネットを使えなかったため、離れてしまった友達と連絡を取り合うこともできませんでした。

幼いころから体を動かすことが好きで、真冬でも天気が良い大熊町は、1年中外で遊べる楽しい場所でした。一方、会津若松市では、冬は雪のため外で

思いっきり遊ぶことができません。それだけに、春が近づくと気持ちが弾んだようになります。会津若松市に来てから、大熊町スポーツ少年団が活動を再開したことを知り、サッカークラブに入りました。雪のない季節には精一杯汗を流しました。

今年3月、小学校を卒業しました。こちらでは各学期・学年が終わるごとに、同級生が一人また一人と転校していきましました。その度に寂しいような気持ちになりましたが、「転校先でもがんばれよ！」と笑顔で手を振り、見送ってきましました。卒業時の同級生は震災前に比べて3割ぐらいの人数になってしまいました。中学校進学の際は大熊中学校か会津若松市立の中学校か選択することになりましたが、大熊町に帰ることはできなくても、同じ町で生まれ育った仲間つながりを守っていききたいと思い、大熊中学校に入學しました。

中学に入學して初めての夏休みに入りました。部員数の確保が難いためサッカー部がなく、部活動はソフトテニス部に入部しました。授業では英語が面白く興味深く取り組んでいます。授業が始まってからまだ3か月しか経っていませんが、将来、英語を使うような仕事に就けたらいいなと思っています。

平成27年度8月、9月の 一時立入りのご案内

一時立入りを実施する際には事前予約が必要となりますので、実施スケジュールをご確認のうえ、コールセンターへお電話でお申し込みください。

(平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。)

※上期（4～9月分）の案内文書は各世帯主様へ個別に発送しております。

※実施スケジュールや最新の予約状況は、専用HP(<http://www.ichijitachiiri.com>)でご覧いただけます。

※立入り当日は**必ず**中継基地で受付を行ってください。中継基地にて、**通行証**、個人線量計、防護装備等をお渡します。

※お帰りの際には、中継基地にこれらを返却していただくとともに、スクリーニングを受けていただきます。

なお、マイカーによる立入りは、**立入り希望日前日の20:00（土日・祝日は17:00）まで**にお申し込みください（**予約がない方の立入りは認められません**。また、立入り日当日の受付はできません）。

また、バスによる立入りは、**各月のバス立入り初日の1か月前まで**にお申し込みください。

【一時立入り受付コールセンター】

- 電話番号：**0120-025-161（フリーダイヤル）**
- 予約受付時間：**平日8:00～20:00、土日・祝日8:00～17:00**

- ・平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。
- ・お盆・お彼岸などは、立入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただくことがあります。専用HP等でご確認ください。
- ・公益一時立入りの受付・お問い合わせは、これまでどおり各市町村にご連絡ください。
- ・資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください。

予約時には問い合わせ番号をお伝えいただくと手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号となっています。

※立入り休止日にやむを得ない事情（命日による墓参立入等）により立入りを希望する場合は役場へ直接ご相談願います。

8、9月の一時立入りスケジュール(マイカー)

一時立入り実施スケジュール【平成27年8月分】 □…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り休止

月		平成27年8月																														
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	津島活性化センター スクリーニング場																															
2	加倉 スクリーニング場																															
3	高瀬 スクリーニング場																															
4	中屋敷 スクリーニング場																															
5	大川原 スクリーニング場																															
6	高津戸 スクリーニング場																															
7	毛萱・波倉 スクリーニング場																															

一時立入り実施スケジュール【平成27年9月分】 □…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り休止

月		平成27年8月																														
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
1	津島活性化センター スクリーニング場																															
2	加倉 スクリーニング場																															
3	高瀬 スクリーニング場																															
4	中屋敷 スクリーニング場																															
5	大川原 スクリーニング場																															
6	高津戸 スクリーニング場																															
7	毛萱・波倉 スクリーニング場																															

一時立入りスケジュール(バス)

2015年度バス立入り年間スケジュール

月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3月	
日		8日	9日	5日	6日	3日	4日	7日	8日	25日	26日	23日	24日	20日	21日	18日	19日	17日	18日
曜日		金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	木	金
津島活性化センター スクリーニング場		浪江町津島地区の世帯の方のみ対応																	
加倉 スクリーニング場	浪江町	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯	50 世帯
	双葉町	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯
毛萱・波倉 スクリーニング場	大熊町	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯
	富岡町	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯

大熊町幼稚園就園奨励費補助金の 申請を受け付けます

平成27年度東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する大熊町幼稚園就園奨励費補助金の受け付けを行いますので、幼稚園に入園しており、避難先で幼稚園就園奨励費補助金の申請をしていない場合や入園料・保育料の減免を申請していない場合は、申請してください。

◆対象となる費用

平成27年4月から平成28年3月までの分として負担した(1)(2)に該当する費用

- (1) 幼稚園入園料及び保育料
※町民税の課税状況等により、補助される金額が異なります。
- (2) 給食費（ただし1食あたり260円が上限です）

◆対象となる児童

大熊町に住民登録がある幼児で、次の(1)から(3)に該当する幼児

- (1) 3歳児 平成23年4月2日生から平成24年4月1日生ままで
- (2) 4歳児 平成22年4月2日生から平成23年4月1日生ままで
- (3) 5歳児 平成21年4月2日生から平成22年4月1日生ままで

◆申請書の配布

申請を希望される場合は申請書等を送付しますので、教育総務課までご連絡ください。

※平成27年4月分から平成27年7月分までの申請を希望される場合は9月4日（金）までにご連絡ください。

※年度の途中で入園した場合も対象となりますので、8月以降に入園し、申請を希望する場合は申請書提出期限の3週間前までに連絡ください。

◆申請書提出期限

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| (1) 平成27年4月分から平成27年7月分まで | 平成27年9月25日（金）必着 |
| (2) 平成27年8月分から平成27年12月分まで | 平成28年1月15日（金）必着 |
| (3) 平成28年1月分から平成28年3月分まで | 平成28年4月1日（金）必着 |

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 教育総務課
☎0120-26-3844（代表）

～戦没者等のご遺族の皆さまへ～

第10回特別弔慰金支給のお知らせ

戦後70周年に当たり、今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表するため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金（記名国債）を支給するものです。

なお、第十回特別弔慰金については、ご遺族に一層の弔慰の意を表するため、償還額を年5万円に増額するとともに、5年ごとに国債を交付することとしています。

◆支給対象者

戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給されます。

- 1 平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の(1)父母、(2)孫、(3)祖父母、(4)兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥・姪等）
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

◆支給内容

額面25万円 5年償還の記名国債

◆請求期間

平成27年4月1日から平成30年4月2日まで

※請求期間を過ぎると第十回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。

◆請求窓口

大熊町役場会津若松出張所福祉課、いわき出張所、中通り連絡事務所または、避難先自治体の担当窓口

※請求手続と国債受領を実際に窓口でできるところでお願いします。

◆その他

- ・手続を行うにあたり、時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・添付書類等、追加で資料を提出いただくことがあります。

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 福祉課
☎0120-26-3844 (代表)

2つの給付金（平成27年度）

申請方法

臨時福祉給付金

- 申請先：大熊町役場福祉課「臨時福祉給付金」窓口
基準日（平成27年1月1日）時点で住民票が大熊町にある方が対象です。
 ※一定の住居を持たない方でいずれの市区町村にも住民票がない方については、基準日の翌日以降であっても現在お住まいの市区町村（大熊町は不可）で住民票の手続を行えば申請を行うことができます。
 ※DV被害者や児童福祉施設等に入所している児童等で、大熊町から住民票を移さずに避難先にお住まいの方については、避難先で申請を受け付けることができる場合がありますのでご相談ください（支給後の相談は受けることができませんので、ご了承ください）。
- 申請期間：平成27年7月31日（金）～11月2日（月）
- 提出書類：申請書（添付書類あり）。申請書は受給の可能性のある方に郵送します。

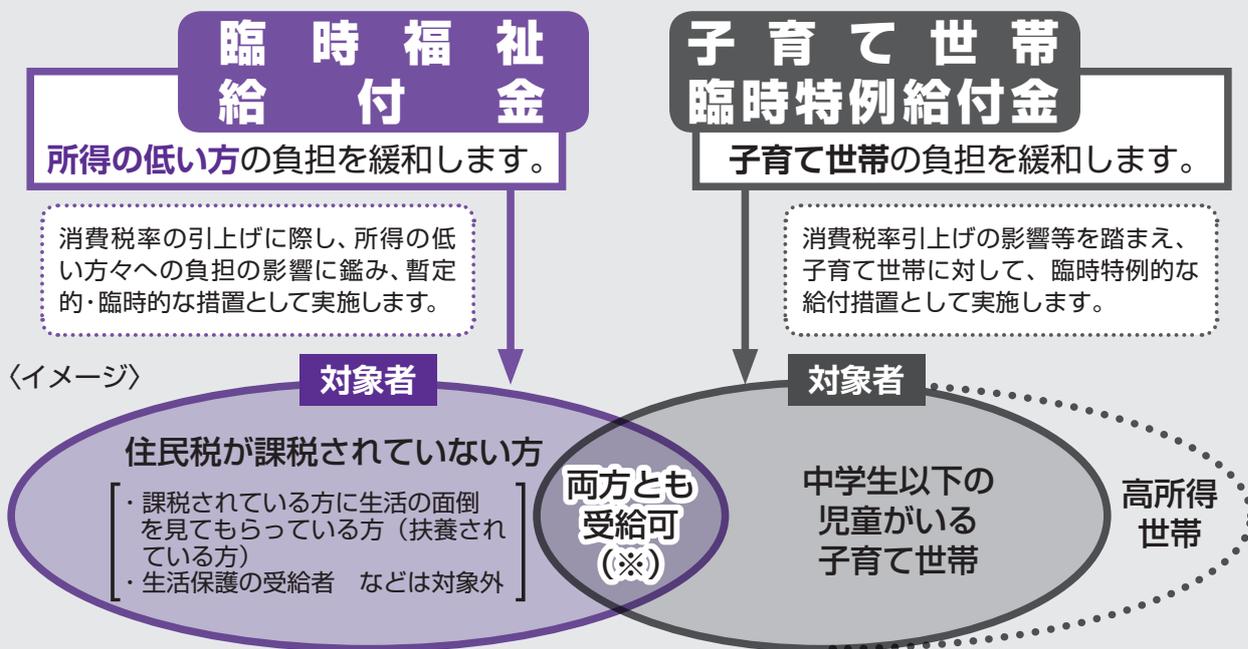
子育て世帯臨時特例給付金

- 申請先：大熊町役場福祉課「子育て世帯臨時特例給付金」窓口
平成27年6月分の児童手当を大熊町から受給される方が対象です。
 ※上記以外の方で、DV被害者や児童福祉施設等に入所している児童は、避難先で申請を受け付けることができる場合がありますのでご相談ください（支給後の相談は受けることができませんので、ご了承ください）。
 ※公務員の方は、基準日（平成27年5月31日）時点で住民票が大熊町にある方が対象です。（勤務先から案内がありますので、そちらもご確認ください。）
- 申請期間：平成27年7月31日（金）～11月2日（月）
- 提出書類：申請書（添付書類あり）は郵送します。

問い合わせ先

- 申請方法に関するお問い合わせ
 大熊町役場「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」窓口
☎ 0800 (800) 8935
- 制度に関するお問い合わせ
 厚生労働省 2つの給付金に関する専用ダイヤル：0570 (037) 192 みな いいきゅうふ

お知らせします



※平成27年度は、2つの給付金のどちらの要件にも該当する方については、2つの給付金を両方とも受け取ることができます。

臨時福祉給付金 支給要件

- 支給対象者：
 - ・平成27年度分の住民税が課税されていない方が対象です。
- ※ただし、

<ul style="list-style-type: none"> ・課税されている方に生活の面倒を見てもらっている場合（住民税において、課税者の扶養となっている場合） ・生活保護の受給者である場合 など 	は対象となりません。
---	------------
- 支給額：1人につき **6,000円**
- 基準日：平成27年1月1日

子育て世帯臨時特例給付金 支給要件

- 支給対象者：
 - ・平成27年6月分の児童手当を受給される方が対象です。
- ※ただし、特例給付（児童手当の所得制限額以上の方に、児童1人当たり月額5,000円を支給しているもの）を受給される方は、対象となりません。
- ※児童手当の認定請求を失念する等して、平成27年6月分の児童手当の対象となる児童分の支給が受けられない方についても、支給対象になり得るので、平成27年5月31日時点で住民票のある市区町村の窓口にご相談ください。
- 対象児童：支給対象者の平成27年6月分の児童手当の対象となる児童
- 支給額：1人につき **3,000円**
- 基準日：平成27年5月31日

自分「再」発見セミナーのご案内

「自分はどんな仕事に向いているのかな？」とお悩みの方へ。私たちと一緒に自分を再発見してみませんか？このセミナーでは性格診断テストを使って、今の自分を振り返ります。今まで気づけなかった自分の強みを再発見して、就職に向けて新たな一歩を踏み出しましょう！

- ◆日 時 8月25日（火）午後1時30分～3時30分
- ◆と ころ アピオスペース2階会議室（会津若松市）
- ◆定 員 20名程度
- ◆申込締切 8月20日（木）
- ◆費 用 無料
- ◆申込方法 Web・電話にてお申込ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

【お問い合わせ先】福島広域雇用促進支援協議会
 ☎024-524-2121 FAX.024-524-2125
 働きたいネットで検索！ <http://fkkoyou.net/>

航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生を募集します

募集種目	航空学生	一般曹候補生	自衛官候補生	
			男子	女子
資 格	高卒（見込含） 21歳未満の者	18歳以上 27歳未満の者	18歳以上 27歳未満の者	18歳以上 27歳未満の者
受付期間	平成27年8月1日～9月8日		年間を通じて 行っています	平成27年8月1日 ～9月8日
試験期日	1次試験／9月23日 2次試験／ 10月17日～22日の間	1次試験／9月19日 2次試験／ 10月8日～14日の間	9月19日 13:30～16:40 (筆記試験のみ) 後日、口述・身体検査	9月25日
試験場所	1次試験／ 郡山市労働福祉会館	1次試験／会津大学 2次試験／郡山駐屯地	筆記試験／会津大学 口述・身検／郡山駐屯地	筆記・口述・身検／ すべて郡山駐屯地

【応募・お問い合わせ先】自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所
 〒965-0825 会津若松市門田町黒岩字大坪57-1
 ☎0242-27-6724

大熊町住民意向調査にご協力ください

大熊町では、今後の生活設計や復興公営住宅への入居などについて、現時点で町民の皆さまがどのような考えをお持ちかを把握するため、今年度も昨年に引き続き、復興庁、福島県との共同で住民意向調査を実施させていただくこととなりました。

調査票につきましては、8月上旬に発送させていただき、調査結果がまとまり次第公表し、今後の施策を進める上での貴重な基礎資料とさせていただきます。

なお、復興公営住宅への入居を迷われている方や大熊町への帰還をご希望の方に対して、改めてご意向などをお聞きする場合がありますので、記名式での調査とさせていただきます。

皆さまには避難生活で心身ともにお疲れのところ、度重なる調査となり大変恐縮ですが、ご協力のほどお願い申し上げます。

実施概要

- 調査実施主体 復興庁、福島県、大熊町
- 調査の方法 全世帯に調査票を送付し、記名方式にて実施します。
- 回答をお願いする方 全世帯の代表者の方
分散して避難されている場合は、それぞれの場所にお送りしています。それぞれでのご回答をお願いいたします。
- 調査実施期間 8月4日（火）～8月17日（月）
- 調査票の提出締切 8月17日（月）までに、調査票と同封の返信用封筒により郵便ポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター
フリーダイヤル 0120-901-841
8月4日（火）～8月17日（月）午前10時～午後5時
（調査期間中のみ 土・日を除く）

選挙のお知らせ

福島県議会議員一般選挙、大熊町長選挙、大熊町議会議員一般選挙を11月5日告示、11月15日投票の日程で行うことになりましたのでお知らせします。

※投票時間や投票場所については、今後決まり次第お知らせします。

【お問い合わせ先】大熊町選挙管理委員会
（大熊町役場会津若松出張所 総務課内）

中間貯蔵施設に係る 弁護士 無料相談会のご案内

町では中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆様が抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談会を開催します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、無料で相談することができます。

◎相談できること

- ◆中間貯蔵施設建設に伴う契約、地上権、相続等について
※法律相談であり、補償価格に関する相談はできませんのでご了承ください。

◇対象者 大熊町内の中間貯蔵施設建設予定地内に不動産(土地・建物)を所有されている方

◇相談料 無料

◇相談時間 1回につき50分以内(各会場3組までの事前予約制)

◇開催場所及び開催日時

開催場所	開催日	開催時間	所在地
大熊町役場 会津若松出張所	平成27年8月21日(金)	午後2時から 午後5時	会津若松市追手町2番41号 (相談会場:2階 第4会議室)
大熊町役場 いわき出張所	平成27年8月25日(火)	午後2時から 午後5時	いわき市好間工業団地1番地43 (相談会場:2階 会議室2)
ビッグパレット ふくしま(郡山市)	平成27年8月24日(月)	午後2時から 午後5時	郡山市南2丁目52番地 (相談会場:小会議室1)

◇申込方法 事前予約の先着順になりますので、下記までご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先】大熊町役場企画調整課

受付時間:午前8時30分から午後5時15分(平日のみ)

いわなの郷20周年・ 第2弾感謝祭にお越しく下さい

双葉郡・大熊町の皆様のおかげで、20周年を迎えることができました。感謝の思いを込めて、感謝祭を行います。第2弾の今回は、岩魚つかみ取り大会(小学生以下)を開催します。他にも、釣りや幻魚亭でのお食事も楽しめます。是非お越しく下さい。

開催日:8月14日(金)

【お問い合わせ先】いわなの郷 ☎0240-38-3511



おおくま交流会 in 茨城県北部 たかはら自然塾で バーベキュー！

2015年9月13日(日)

〈当日のプログラム〉

自然がいっぱいの「たかはら自然塾」でおとなも子どももみんなでバーベキュー！
おおくまのみんなと楽しくおしゃべり！

場所: たかはら自然塾

住所: 茨城県日立市十王町高原396-1

時間: 11:00~14:00

(※14:00以降もご歓談いただけます)

参加費: 大人1000円

小学生以下500円(未就学児0円)

対象: 大熊町民のみなさま



交通のご案内

- ・JR常磐線十王駅下車約8km・・・タクシーで約10分
- ・常磐自動車道日立北ICから約10km・・・車で約15分

十王駅より送迎可能。
詳細はお問い合わせください！



参加お申込・お問合せ先:
大熊町コミュニティ支援いわき事務所
0246-88-9317(電話受付時間平日10時~16時)
当日連絡先: 070-5581-5939
(大熊町復興支援員・富岡)

※申込締切日: 2015年8月末日



お待たせしました

9月5日(土)北海道で初の大熊町民交流会を開催!



『おおくま交流会 in 札幌』へのお誘い

-4年ぶりの大熊の言葉で気兼ねなく話そう-



開催時間：11:00～13:30 (開場 10:30)

会 場：ACU 会議室1201 (アスティ45 12F)
(住所:札幌市中央区北4西5 アスティ45)

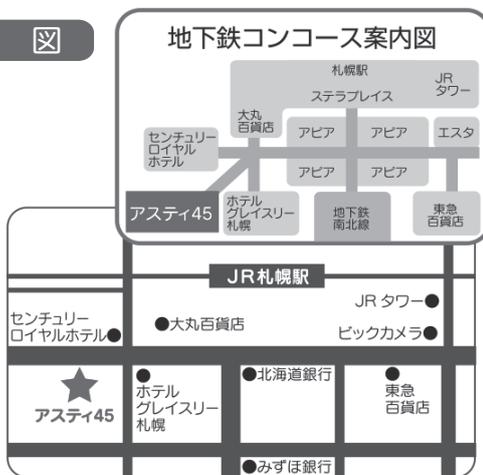
交 流 会

町民同士の交流会・自由懇親会☆
大熊町役場職員も参加します。



お土産に、懐かしいカムラさんの『UFOパン』をプレゼントします!!

地 図



電車、バスでお越しの場合

- JR「札幌駅」徒歩5分
- 地下鉄「さっぽろ駅」徒歩3分(駅直結)

お車でお越しの場合

- 会場専用駐車場をご利用ください



◀ 駅待ち合わせ場所:
JR札幌駅 南口
オブジェ『妙夢』前



アスティ 45 札幌駅側入口よりオフィス横の
エレベーターホールにお入りください。
※ 高層階用エレベーターで12階にお上がりください。

お電話または E-mail で
参加のご予約をお願いします♪

参加お申し込み・お問い合わせ先

- 大熊町コミュニティ支援関東事務所 (電話受付時間: 平日 10時～16時)
- ▶ TEL&FAX: 048-711-7135 ▶ E-mail: kanto@town-okuma.jp
- ▶ 当日のご連絡先: 070-6513-4079 (担当: むた) *道に迷われたらお電話ください。

- ※ 当日は、会場での現地集合、または JR札幌駅 南口『妙夢』前(10:40)での集合です。
- ※ JR札幌駅 南口『妙夢』前での集合をご希望の方は必ず前日迄にご連絡ください☆

主催：大熊町

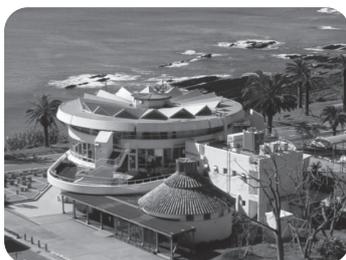


お待たせしました

九州北部・南部で初の大熊町民交流会を開催!

8月22日・23日『おおくま交流会』へのお誘い

-4年ぶりの大熊の言葉で気兼ねなく話そう-



『おおくま交流会 in 宮崎』

開催日：8月22日(土)
時間：10:30～13:30 (開場 10:00)
会場：道の駅フェニックス 3F
(住所:宮崎市大字内海字三池381-1)

交流会

町民同士の交流会・自由懇親会☆
大熊町役場職員も参加します。



お土産に、懐かしいカムラさんの『UFOパン』をプレゼントします!!



『おおくま交流会 in 福岡』

開催日：8月23日(日)
時間：11:00～14:00 (開場 10:30)
会場：博多バスターミナル 9F 第5ホール
(住所:福岡市博多区博多駅中央街2-1)



参加お申し込み・お問い合わせ先

お電話またはE-mailで参加のご予約を
お願いします♪当日のとびこみ参加も歓迎◎

大熊町コミュニティ支援関東事務所 (電話受付時間: 平日 10時～16時)

▶ TEL&FAX: 048-711-7135 ▶ E-mail: kanto@town-okuma.jp

▶ 当日のご連絡先: 070-6513-4079 (担当:むた)*道に迷われたらお電話ください。

主催:大熊町

ルールを守って 楽しい花火遊びを

■安全に遊ぶポイント■

- ・風の強い時は花火をしない。
- ・周りに燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ・子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ。
- ・説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ・バケツ等に水を準備し、完全に消火する。



■花火が終わったら■

- ・完全に消火し、燃えかすなどのゴミは持ち帰りましょう。

「花火遊びは
迷惑にならない場所と時間と後始末!!」

【お問い合わせ先】
浪江消防署 ☎0240-34-7360
富岡消防署 ☎0240-25-2119

相双・地産地消で和の創作汁物料理コンテスト!

福島県相双農林事務所では、家庭での地場産農林水産物の消費拡大につなげるため、家庭で作れる“和の創作汁物料理”のレシピを募集します。

入賞者には賞品もございますので、ふるってご応募ください。

9/6メ切・消印有効

※詳細は、福島県相双農林事務所のHPをご覧ください。

※インターネットをお使いいただけない方は、資料をお送りしますので、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】福島県相双農林事務所企画部
☎0244-26-1153
FAX.0244-26-1181

見守り機能付き歩数計 利用申込のお知らせ

見守り機能付き歩数計の申込を随時受け付けておりますので、以下の利用条件を満たす方で利用を希望される場合は、申し込み先までご連絡ください。



<利用条件>

- ・現在または平成23年3月11日時点で大熊町に住民票をお持ちの方
- ・60歳以上(昭和30年12月31日以前にお生まれの方)、または障害者手帳、療育手帳をお持ちの方
- ・見守り機能付き歩数計を持っていないこと(利用できるのはひとり1台まで)

【お申し込み・お問い合わせ先】
大熊町タブレット相談室
フリーダイヤル 0800-800-0907
(受付時間 月~金 9:00~17:00)

ふくしま駅伝の 選手を募集します

第27回ふくしま駅伝は、県民の体力の向上と中・長距離選手の育成・強化を図り、各市町村のふるさとおこしに寄与するとともに、「復興 未来ふくしま の力で」をスローガンにタスキをつなぎ、震災からの一日も早い復興を願い開催します。

中・長距離に自信のある方、大熊町のタスキをつなげてみませんか。大熊町の選手を募集しております。

日 時 平成27年
11月14・15日(土・日)

コース 白河市~福島県庁前

募集対象 中学生以上

締 切 日 平成27年7月31日(金)

【お問い合わせ先】
大熊町役場会津若松出張所 教育総務課



～ふるさとの再生と帰還にむけて～

福島県土木部 INFOMATION



福島県土木部では、公共事業に対する理解を得るために、多くの県民の皆様へ「土木部の催し」「地域づくりに関する情報」「公共土木施設の復旧・復興の状況」「道路通行規制情報」など、様々な取組みを頂けるよう情報発信していきます。

【問い合わせ先】 福島県土木部土木企画課 電話：024-521-7886

◆「土木部メールマガジン」配信のお知らせ【登録無料】

福島県土木部では土木部が行っている「イベント」「地域づくりに関する情報」「公共土木施設の復旧・復興の状況」「道路通行規制情報」等、様々な取組みをメールマガジンで配信しています。ぜひご登録ください。

1. 提供情報【毎週発信】

- (1) 土木部の催し (2) 地域づくりに関する情報
 (3) 公共土木施設の復旧・復興の状況 (4) 道路通行規制情報 (5) その他

2. アドレスの登録

- (1) 【土木部メルマガ希望又は、解除】をお書きのうえ、メールを送信して下さい。
 なお、別の受信先を希望する場合は併せて【メールアドレス】を記入して下さい。
doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
 (2) 携帯電話等での登録には、右記もご利用になれます。



土木部 イベント案内



8 月	9 月
<p>8日(土) ハイスクール世界サミット in 福島 場 所：東日本国際大学 (いわき市) 時 間：12:30～16:30 連絡先：道路計画課 024-521-7469</p> <p>8日(土)・9日(日) ふくしま住まいと暮らしフェア 場 所：ビックパレットふくしま(郡山市) 時 間：8日 11:00～17:00、 9日 10:00～16:00 連絡先：建築指導課 024-521-7528</p> <p>27日(木) (仮称)ひろの防災緑地ワークショップ 場 所：調整中 (決定次第ホームページ等でお知らせします) 時 間：18:30～20:00 連絡先：富岡土木事務所 0240-23-6605</p>	<p>6日(日) こまちダムまつり 場 所：こまちダム周辺 (田村郡小野町大字菖蒲谷字堂田地内) 時 間：9:30～15:00 連絡先：三春土木事務所 0247-62-3151</p> <p>6日(日) 下水道まつり(大滝根水環境センター) 場 所：大滝根水環境センター (田村市船引町春山字赤間田地内) 時 間：10:00～15:00 連絡先：県中流域下水道建設事務所 024-958-3861</p> <p>13日(日) 下水道まつり(あだたら清流センター) 場 所：あだたら清流センター (二本松市榎戸二丁目地内) 時 間：10:00～15:00 連絡先：県中流域下水道建設事務所 024-958-3861</p> <p>19日(土) 福島空港「空の日」フェスティバル 場 所：福島空港周辺 時 間：10:00～15:00 連絡先：福島空港事務所 0247-57-1111</p>



サロンに卓球台があるよ！身体を動かして来てね！

梨の実サロン平



電話：0246-38-3236

住所：いわき市平字新田前 6-10

開所時間：平日 9:30～16:30

定休日：土・日・祝日

8月行事予定表

月	火	水	木	金
3	4	5 ☆健康料理教室 10:00～ (12名) 参加費：300円 持ち物：エプロン・三角巾	6	7 出張！ タブレット相談室 10:00～15:00
10 カラオケ 13:30～	11	12 健康体操 10:00～	13	14
17	18 つながっぺサロン 9:30～11:30 ※出張！ タブレット相談室	19	20 栃本一座紙芝居公演 13:00～	21
24 ユーモアセラピスト 『百笑溢喜の 爆笑トーク 90分』 10:00～ 	25 ☆手芸教室(5名) 『ペーパークイリング でフラワーアート』 10:00～ 参加費：500円	26 ☆ピラティス教室 14:00～ (10名) 参加費：無料 持ち物下記参照	27 民謡教室 10:00～ お肌のお手入れ 10:00～14:00 ※タブレット相談室	28

出張！タブレット相談室

8/7日(金)10:00～15:00

8/18日(火)イベント終了後

8/27日(木)イベント終了後

タブレット相談室スタッフがみなさん

の質問やお悩みをお聞きます。

タブレットをご持参の上お気軽に

お立ち寄りください！

☆ピラティス教室

身体のゆがみを整えて腰痛・肩こり・膝痛を

予防しよう！(ストレッチ・簡単な体操)

持ち物：手ぬぐいか温泉タオル・飲み物

服装：動きやすい格好

(伸縮性のあるもの)



☆印は事前に申し込みが必要です！

イベント3日前までにサロンへ

お申し込み下さい(^-^)

その他ご不明な点があれば

お気軽にお問い合わせください！



つながっぺサロン

皆さんで楽しい時間を過ごしませんか？

お茶会・レクリエーション・小物作りを用意し

ております。お気軽にお立ち寄りください！

大熊町社会福祉協議会

埼玉県

輪になろう!

ふみ出そう!



ひまわりサロン

◆日時 8月19日(水) 10:00~

※内容は企画中です

◆場所 やすらぎ会館

(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

※今回は必ず事前に連絡をお願いします。

ひまわりサロンは毎月第3水曜日。
いつでも新しいお友達を待っています。

【お申し込み・お問い合わせ先】

ひまわりの会

☎080-5431-0123 (島田留守電)

会津若松市

おおくま町会津会

借り上げ住宅自治会「おおくま町会津会」は
借り上げ住宅に避難されている町民の皆さま
のための交流会を毎月第1、第3水曜日に開催
しています。お気軽にご参加ください。

◆8月の開催日(両日とも午前10時から)

・5日(水) 草履づくり

・19日(水) 交流会

◆場所 おおくまサロン「ゆっくりすっぺ」
(会津若松市)

◆内容 町民同士の交流、情報交換など
※随時会員を募集しています。

【お申し込み・お問い合わせ先】

☎090-7078-2327 (山本)

茨城県

大熊町避難者コミュニティ 積小為大の会

8月の定例会は次の通り開催します。

◆日時 8月23日(日) 午後1時~4時

◆場所 社団法人茨城県産業会館

(水戸市桜川2-2-35)

◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用く
ださい

◆内容 大熊町議会との座談会(議員
の方8人程度参加予定)

【お申し込み・お問い合わせ先】

浅野秀蔵(水戸市) ☎080-1657-7286

Email: syu-senya.takanori@coral.plala.or.jp

いわき市

すまいるサロン

いわき市内に避難している皆さん!お茶会
「すまいるサロン」を開催します。町民であれ
ばどなたでもご参加いただけます。初めての
方は、ご連絡いただければ幸いです。

◆日時 8月18日(火)

午前10時~午後3時

※ご都合のよい時間にお出かけください。

◆会場 大熊町役場いわき出張所
2階調理室

◆主催 すまいるサロン

◆持ち物 マイカップ、おむすび(昼食)

【お申し込み・お問い合わせ先】

☎080-1830-5567 (小林)

会津若松市

大熊町のママさんサークル ママだってやってみ隊!



8月は夏休みにします。

9月は料理教室を
予定しています。

【お申し込み・お問い合わせ先】

☎090-6259-7933 (阿部)

※平日午前10時~午後5時受付

大熊町いわき会ブドウ狩りバスツアー！

6月に設立した大熊町いわき会では、会員の皆さんとの交流を図るため、ブドウ狩りバスツアーを実施します

- ◆日 時 9月2日(水) ◆対 象 大熊町いわき会員
 - ◆行 先 山形県 ◆参加費 3000円
 - ◆内 容 ブドウ狩り、高畠ワイナリー、昼食
 - ◆集 合 いわき駅前など(午前7時)
 - ◆帰着予定 19:00頃
- ※申込締切日：8月15日(先着順定員45名)
●お申込みいただいた方には後日詳細をご連絡します。



【お申し込み先】 ☎070-5581-5939 (担当:富岡)

熊三区の臨時総会・懇親会のご案内

原発事故により避難生活を余儀なくされてから4年が経ち、今なお不自由な生活を強いられていることと思います。

さて、熊三区ではこの度一泊での臨時総会並びに懇親会を開催しますのでご案内します。

この、先の見えない状況下、町から皆さんの交流の維持を目的とした「大熊町行政区絆維持補助金」が各行政区に交付される事となりました。

熊三区では「行政区絆維持補助金」の有効活用と言う事で総会を兼ねた懇親会の開催を役員会で協議し決定しました。

つきましては、万障繰り合せの上ご家族での参加をお待ちしております。

追伸

本来ならもっと早い時期に開催すべきだったのですが、一番に皆さんの負担を少額に抑えたいと言う思いから予算確保に手間どり実現出来なかった事、大変申し分なくお詫び申し上げます。

【問い合わせ先】

区長・藤田 昭悟 ☎090-4557-6121

- ◆日 時 9月12日(土)
17時30分～臨時総会
18時30分～懇親会
*懇親会始まる前に集合写真撮影
- ◆場 所 磐梯熱海温泉 ホテル「華の湯」
郡山市熱海町熱海5丁目8-60
☎024-984-2222
- ◆会 費 参加者一人当たり(宿泊の有無に関わらず、中学生以上)1,000円
*小学生以下は会費負担なし。
*差額は交付金を活用します。
*当日会場にて集金します。
- ◆交 通 いわき地区、会津地区からはバスを運行します。尚、交通費の一部として少額ですが1家族あたり県外居住者3,000円支給します。
- ◆出 欠 同封のはがきに「出欠」「住所、電話」「氏名」「参加人数」「性別、年齢」「宿泊の可否」を記入し、8月15日までに返送願います。

下野上3区交流会開催のご案内

皆さまにおかれましては元気で過ごして思いますが、それぞれにご苦労も多いと思われます。このたび交流会を企画しましたので、旧知の方々と親睦の時間を過ごしていただきたいと思ひます。町助成金の運営や除染についても、ご説明します。多数のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】片倉 莊次 ☎090-9633-9238
伊藤 光子 ☎090-3645-2765

- ◆日 時 8月29日(土) 午後3時
*JR湯本駅から会場まで送迎バスを運行します。ご利用希望の方は申し込み時に申し出てください。
- ◆会 場 ホテル美里(いわき市常盤湯本吹谷57-2)
☎0246-42-2181
- ◆参加費 2,000円(1泊1人当たり)
- ◆申込期限 8月10日(月)まで

熊二区交流会を開催しました

7月4日(土)、いわき市湯本温泉「雨情の宿 新つた」で、県内外の避難先から32世帯、52人が参加し交流会を開催しました。

この交流会は、絆維持事業として開催したもので、一昨年会津若松市で開催した交流会から2年ぶりに開催しました。

交流会は、島原健二郎区長のあいさつに続き、大熊町を代表して参加いただいた鈴木茂副町長から、第2次復興計画の内容と復興の状況などの報告を交えたごあいさつをいただきました。

その後、この2年間の会計報告と監査報告を行い、金澤健康さんの音頭で乾杯を行い、にぎやかに交流会がスタートしました。

参加された皆さんは、避難から4年が経過し、久

しぶりに会う懐かしいご近所の方々と、思い出話やこれからのことについて交流を深めていました。



野馬形区の臨時総会・懇親会を開きました

6月27日、震災後3回目の懇親会をいわき市湯本温泉“吹之湯”において実施しました。懇親会に先立ち総会を開催し、現状の報告、備品の補償問題等の進め方、今後の体制等を話し合いました。

4年ぶりに会う人、親子連れで新しい家族を紹介する人等、遠くは横浜から総勢69人が集い楽しい時間を過ごし、次回も元気に会うことを誓い合い散会しました。

都合によって今回参加されなかった方も、次回はぜひ参加を検討してみてください。(野馬形区長)



平成2年度大熊町立大熊中学校卒業生 (昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生まれ) 同級会(男性の厄祓い式)を開催します。

平成2年度大熊中学校卒業生として学び舎を巣立ち、早くも25年が過ぎ、このたび、男性の厄祓い式を兼ねた同級会を開催することになりました。恩師の先生方にもお声掛けをしたいと考えておりますので、ぜひ、ご出席ください。

出席を希望される方は連絡先へメールで申し込みください。その際、①氏名②旧姓③現住所④連絡先を所定のアドレスへ送信してください。メールでいただきました個人情報については幹事側の連絡資料とし、公表を考慮してはおりませんのでご理解ください。

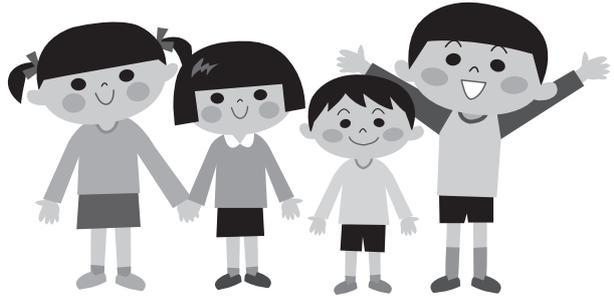
なお、今回同級会の案内をするにあたり、町の広報誌、ホームページを活用しております。ご家族や、友人の方などでご覧になった方から周知していただくと幸いです。

- ◆日時 平成28年1月2日(土) 正午～
 - ◆場所 いわきワシントンホテル 〒970-8026 福島県いわき市平字一丁目1番地 ☎0246-35-3000
 - ◆会費 調整中(祈祷、飲食、写真代)※人数によって金額が変更になります)
 - ◆幹事 山本奈々、泉沢麻実(旧姓 荒木)、吉田学、菅原祐樹
 - ◆連絡先 E-mail ooty50.51@gmail.com
- 詳細は決まり次第、お知らせします。

ご案内

子ども健やか訪問事業のお知らせ

福島県内において、1歳児、4歳児、小学1年生を対象に、子育て家庭の不安の軽減を図るため、福島県内の各保健福祉事務所の保健師等がご自宅を訪問しています。心配事などありましたら、ご相談ください。



食生活改善推進協議会総会を開催

6月29日、いわき市の吹の湯で食生活改善推進協議会総会が開催されました。

庄子ヤウ子会長が「震災以降も、それぞれが避難している状況で活動を続けてきていることを誇りに思う。これからも出来る事は限られますが、協力して活動していきましょう」とあいさつしました。

総会終了後の懇親会では、久々の再会に話題が尽きず、大いに盛り上がりました。



ゲートキーパー研修会を開催

6月10日、民生児童委員を対象としたゲートキーパー研修会が大熊町役場会津若松出張所で開かれました。

埼玉県三芳町の高橋万紀子保健師を講師に招きました。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

避難生活も5年目を迎え、いろいろな事で悩みを抱えている方が増えています。一人で悩まず、お近くの民生児童委員にご相談ください。



保健だより

【お申し込み・お問い合わせ先】
大熊町役場いわき出張所
保健師／看護師 ☎0120-26-5671

シルバークッキング

人生、銀色(シルバー)のように
淡く輝きたい！
喋って・つくって・食べて元気になろう

- 日にち** 8月27日(木)
- 時間** 10時開始～13時終了予定
- 内容** 夏の疲れを癒やすメニュー
- 会場** 常磐共同ガス
ガスワンキッチンスタジオ
「ステラ」
いわき市常磐湯本町日渡74-7
*駐車場有
☎0120-43-3148
- 定員** 定員10名(年齢、性別問わず誰でも参加可能)
- 申込み** 電話または来所にて

こころの元気を育てる講座

おおちゃん小法師絵付け会

- 日にち** 8月6日(木)
- 時間** 13:00～15:30
- 会場** 大熊町役場いわき出張所
2階コミュニティホール
- 内容** 絵付け会&交流会(AGFの
コーヒー飲めます)作った作品
はお持ち帰りできます。
- 定員** 30名(定員になり次第しめ切
ります)
- 申込み** 8月4日までお申込ください。

保育スタッフもいますので、
お子様連れの参加も大歓迎です！

9月に落語を予定しています！
乞うご期待!!

各種催しの



子育てひろば

ママカフェ

- 日にち** 8月25日(火)
- 時間** 午前9時30分～12時
(ママカフェ:午前10時30分
～11時30分)
- 会場** 大熊町役場いわき出張所
2階コミュニティホール
- 対象** 未就学児とその保護者
ママだけの参加も大歓迎!
- 内容** アイスコーヒーのおいしい
入れ方、交流会
- 講師** AGFスタッフ
- 申込み** 不要



平成27年度健康づくり講座 運動編

さびないカラダづくり

～からだを動かして
気分をリフレッシュしませんか～

- 日にち** 8月28日(金)
- 時間** 午前10時～11時30分
- 会場** 大熊町役場いわき出張所
2階コミュニティホール
- 対象** 誰でも参加可能
- 講師** Jヴィレッジフィットネスクラブ
スタッフ
- 持ち物** 動きやすい服装と室内履き、水分
- 申込み** 電話にて (当日参加も可能)

操作もおまかせ 修理もおまかせ **タブレット相談室**

タブレットの電源を入れたままにしておく
大熊町の写真に切り替わるよ
(カモの親子が見られるかも)



0800-800-0907 通話無料(平日 9:00~17:00)



アタマの体操

で

脳のリフレッシュをしよう!

アタマの体操の中の元気度チェックで
あなたにオススメのゲームが見つかるよ
問題をクリアして高得点を目指してチャレンジ!



くま
ちゃんねる

毎週木曜日
配信中☆

大熊町の避難状況

○人口及び世帯

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成27年6月30日現在	10,799	3,932
増 減	△ 706	△ 303

●避難先の状況 (平成27年7月1日現在)

福島県内の主な避難先地域

いわき地域	会津地域	県中地域
4,396人	1,764人	1,227人

福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県	茨城県	東京都
402人	439人	288人

**大熊町公式サイト、
ブログ大熊町**

を、ご利用ください!

大熊町公式サイト、ブログ大熊町では新着情報や重要なお知らせなどを随時更新しています。ぜひご覧ください。

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>

おくやみ申し上げます

2015年(平成27年)6月

死亡者名	年齢	住所
木田 弘子	57歳	湯の神
飯田 キイ	94歳	大野
神谷 直隆	84歳	大野
長沼 充	85歳	大野

死亡者名	年齢	住所
志賀 公明	85歳	熊町
秋本 愿	92歳	古館
橋本 利浩	54歳	向畑

●大熊町関連施設お問い合わせ先●

大熊町役場

●会津若松出張所

(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、健康介護課、環境対策課、生活支援課、産業建設課、出納室、教育総務課、議会事務局)

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

TEL : 0120-26-3844 (フリーダイヤル)

FAX : 0242-26-3794

●いわき出張所

(生活支援係、住民福祉係、保健衛生係、復興事業課)

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

TEL : 0120-26-5671 (フリーダイヤル)

FAX : 0246-36-5672

●中通り連絡事務所

〒964-0915 二本松市金色421-10

オフィス・ウインドストリーム1F

TEL : 0120-24-1013 (フリーダイヤル)

FAX : 0243-24-1259

●現地連絡事務所

〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉125

坂下ダム施設管理事務所内

TEL : 0240-32-2318 FAX : 0240-32-5460

※現地連絡事務所では大熊町内の防火・防犯、一時立入者の補助業務を行っています。それ以外の業務につきましては、会津若松出張所またはいわき出張所、中通り連絡事務所へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

大熊町コミュニティ支援事務所

●関東事務所 (梨の実スペース)

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-15-4

アイリーセブンコート1F

TEL : 048-711-7135

●いわき事務所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

大熊町役場いわき出張所内

TEL : 0246-88-9317

大熊中学校

〒965-0003 会津若松市一箕町八幡字門田9-2

TEL : 0242-23-7214 FAX : 0242-37-7157

大野小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-75-2350 FAX : 0242-75-2352

熊町小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-76-1821 FAX : 0242-76-1822

大熊幼稚園

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中152

TEL : 0242-75-3150 FAX : 0242-76-1718

大熊町社会福祉協議会

●会津若松出張所

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5760 FAX : 0242-29-5761



町長室から 渡辺 利綱



相双地方の夏の風物詩といえば相馬野馬追。わが町からも毎年、騎馬武者が出陣しています。今年も標葉郡大熊町騎馬隊として4人の騎馬武者が出陣を果たしました。さらに、震災後では初めての出陣式も会津若松市で行われました。かつて古里で行っていた出陣式のようにはいきませんでしたが、気持ちだけは負けないようにと心がけながら精鋭たちを激励しました。

震災前、町内で行われていた出陣式では、かがり火をたき、ほら貝が鳴り響く中、陣笠と陣羽織姿で客人を出迎えました。通りに旗指物が立ち並ぶ様子は戦国絵巻さながらで、心躍ったものでした。藩境

野馬追の夏

にあつた私たちの祖先は、農業を営みながら有事に国境を警護したのでしょう。幾度も存亡の危機にさらされながら、命がけて国を守ってきた歴史を今に受け継ぐ野馬追は、わが町にとつても特別なものでした。

古里で親しんだ行事や海の幸、山の幸の記憶は、避難が長引けば長引くほど薄れがちになります。それは、寂しいことです。しかし、いつかは帰ることを念じながら、伝統を継承する取り組みを続ける方たちがいることには、勇気づけられます。会津の地から送り出され、神聖なる場に赴いた4人の姿に、久しぶりに心を躍らせました。

●いわき連絡所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

(大熊町役場いわき出張所内)

TEL : 0246-38-8920 FAX : 0246-38-8921

●中通り連絡所

〒964-0915 二本松市金色421-10

(大熊町役場中通り連絡事務所2階)

TEL : 0243-24-1338 FAX : 0243-24-1339

大熊町商工会

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5770 FAX : 0242-29-5771

à la carte

あらかると



七夕集会、 子どもたちが願い事

7月7日、会津若松市の熊町・大野小体育館で七夕集会が開かれました。

隣りにある町立幼稚園の園児も参加。短冊をつるした竹を飾り、各学年の代表が願い事を発表しました。七夕に関するクイズが出題されたり、全員で「たなばたさま」を歌ったりして、七夕の雰囲気を楽しみました。

短冊には「おもちゃやさんになりたい」「宇宙飛行士になりたい」など将来の夢や「家族が長生きしますように」「今まで支えてくれた人に感謝を伝えたい」など家族や地域への思いが書かれ、児童はそれぞれの願い事が叶うことを祈っていました。

大川原でメガソーラー着工

太陽光発電施設「大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所」の建設が町内大川原地区で始まりました。町復興のシンボルとして期待されます。

同施設は福島発電株式会社が約3.2ヘクタールの敷地に太陽光パネル7700枚余りを設置し、一般家庭600世帯に当たる年間約2200メガワットを供給できます。電気はすべて東北電力に売電し、収益の一部を町内に整備される予定の植物工場の運営支援に充てます。運転開始は12月の予定です。



7月21日、現地で起工式が行われ、東之弘社長、渡辺利綱町長らがくわ入れしました。

同施設の運転期間は20年で、終了後、原状回復し、農地として返却されます。



表紙の写真

2日間にわたり催された「おおくまっ子みんな集まれ」の最終日、朝の雨雲を子どもたちの元気な笑顔が吹き飛ばしました。町のことを学んだ2日間を振り返って作った、みんなの願いをつなげた連凧が空高く舞う様子を撮影しました。